

# 新城市糖尿病対策研究会の 活動報告

新城市健康課 主任保健師  
市野 朝子



# 新城市糖尿病対策研究会発足のきっかけ

平成23年1月新城市民病院から

「この地域は糖尿病の放置状態の患者さんが多いと思う。対策を検討したい。」



新城市民病院、新城保健所、新城市健康課の担当者で集まって、打ち合せ会をもつこととした。

「ストップ糖尿病！新城DM対策研究会」の立ち上げへ



# 糖尿病対策研究会の目的

---

新城市民の糖尿病の発症予防、合併症阻止、防止等のために、予防・医療、保健などの関係機関が連携し、地域の実情を踏まえた糖尿病対策をより一層促進し、

**市民の健康増進を図る。**



# 糖尿病対策研究会の説明

---

実施機関

新城保健所、新城市民病院、  
新城市健康課

実施場所 新城市保健センター一等

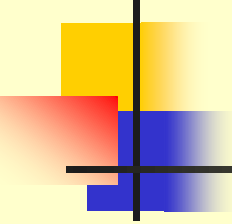
助言者 浜松医科大学教授



# 糖尿病対策研究会の事業内容

---

- 1 新城市民の糖尿病患者等の  
分析と課題の抽出
- 2 研修会の開催
- 3 普及啓発用のチラシづくり
- 4 健康ひろばへの参加



# 糖尿病に関する現状報告会

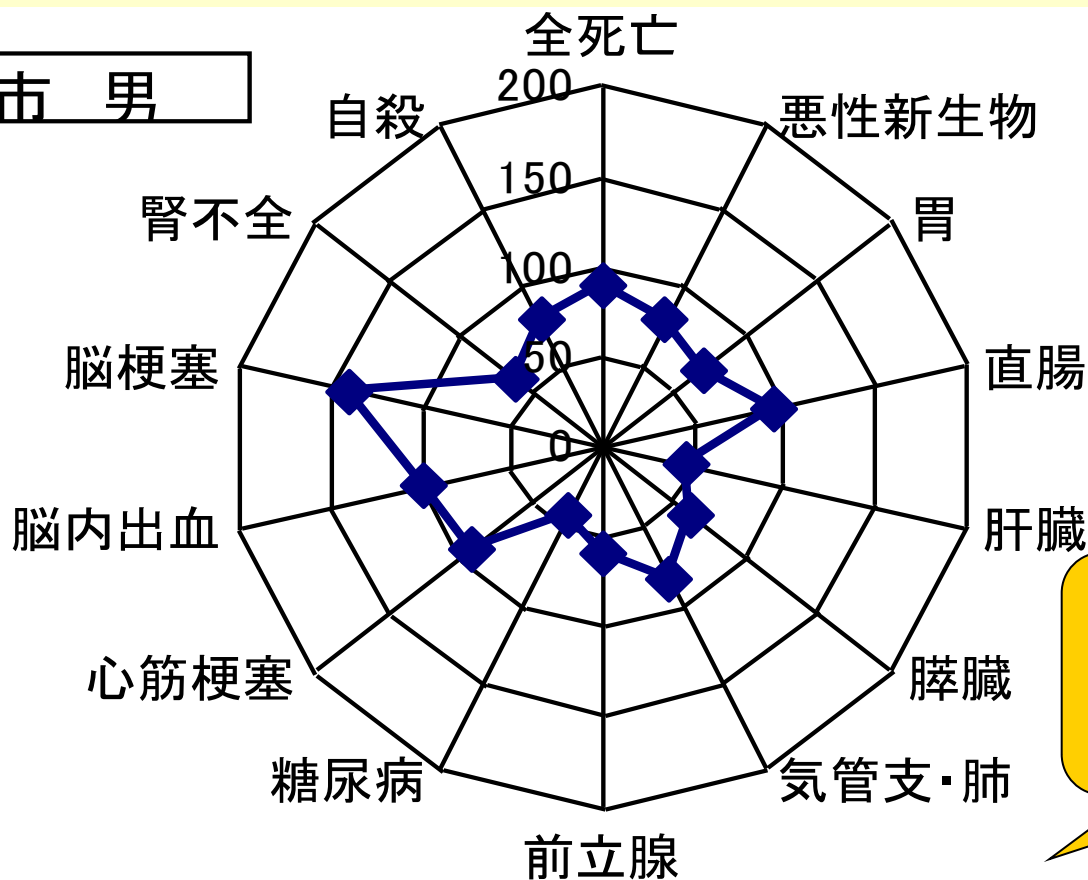
23年2月28日



# 男性の死亡原因

(平成16~20年性別疾病別市町村別標準化死亡比)

新城市 男

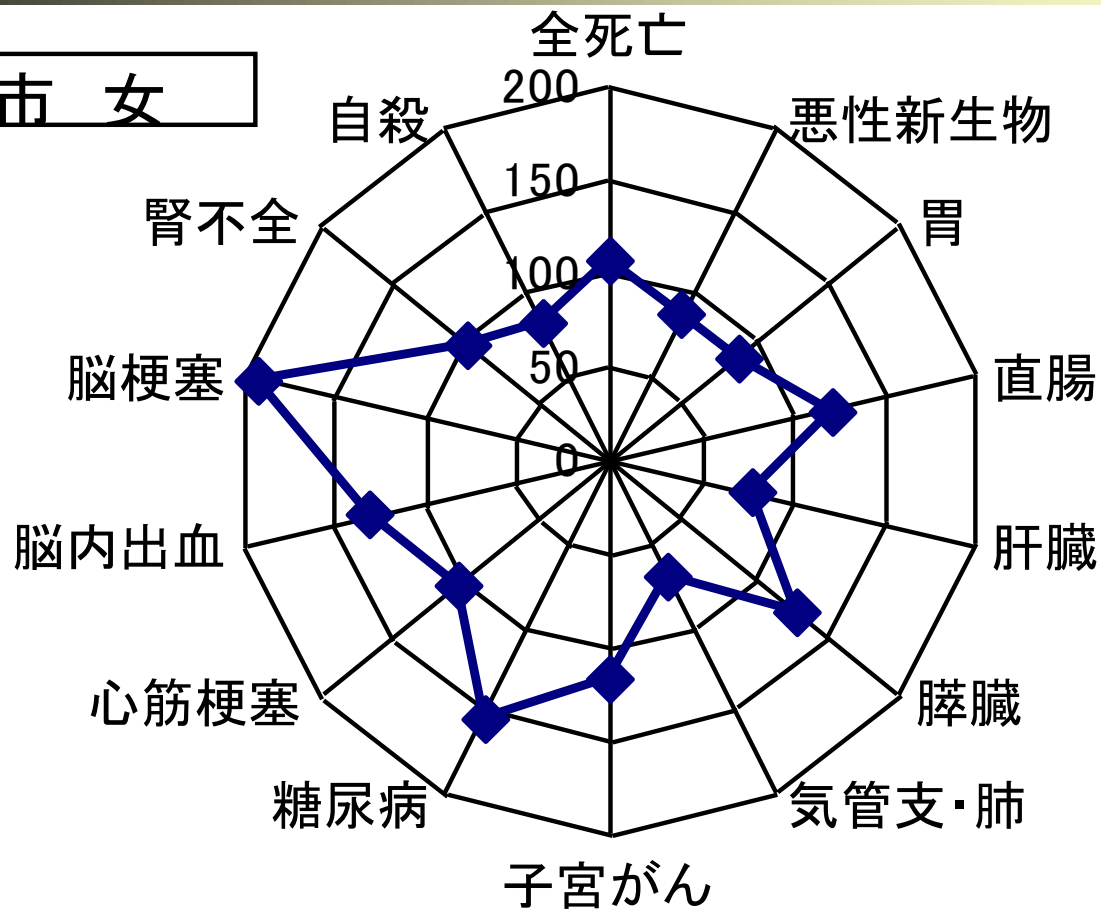


男性は、脳梗塞・  
脳出血・心筋梗塞  
が多い

# 女性の死亡原因

(平成16~20年性別疾病別市町村別標準化死亡比)

新城市 女

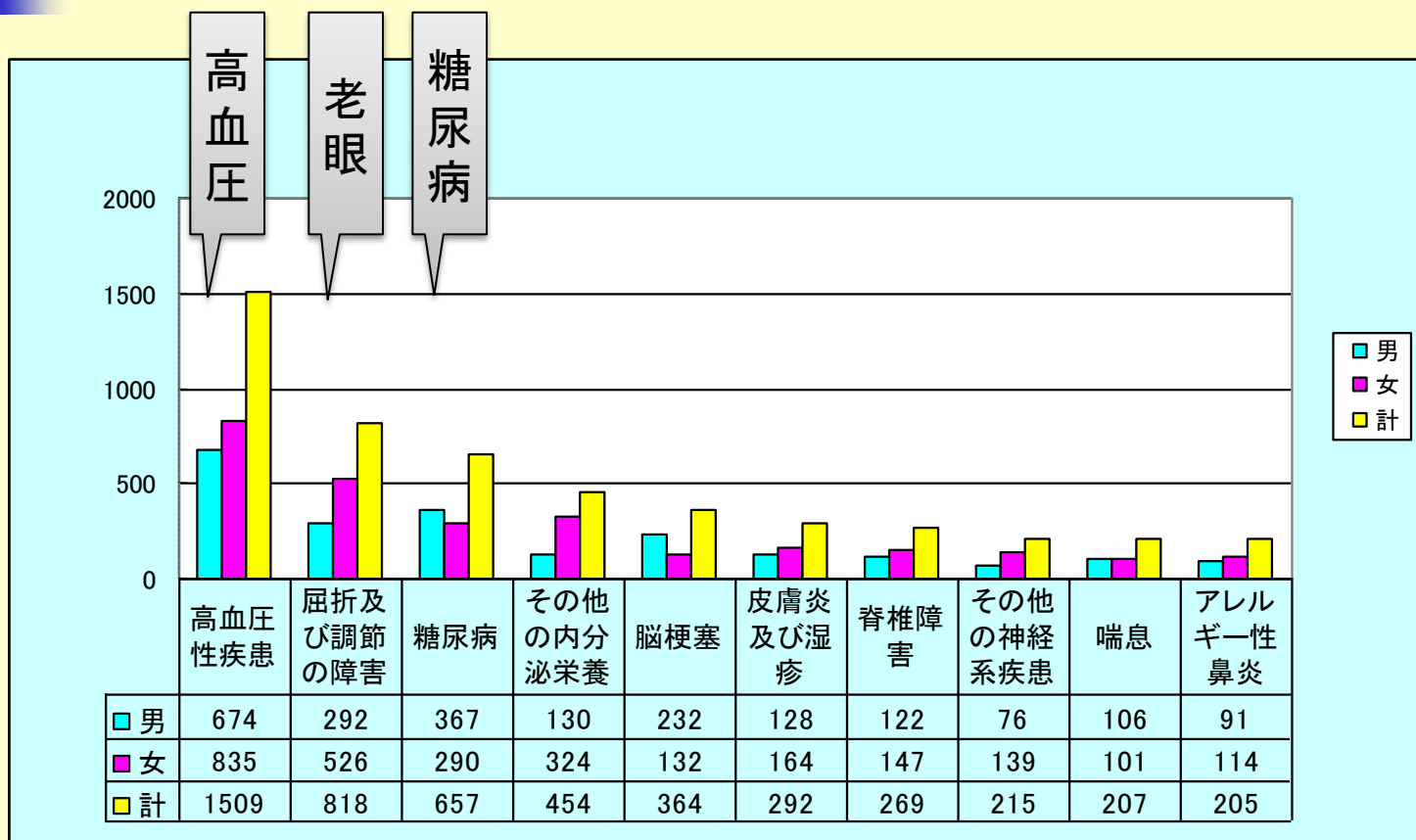


女性は脳梗塞・  
糖尿病・脳内出  
血が多い



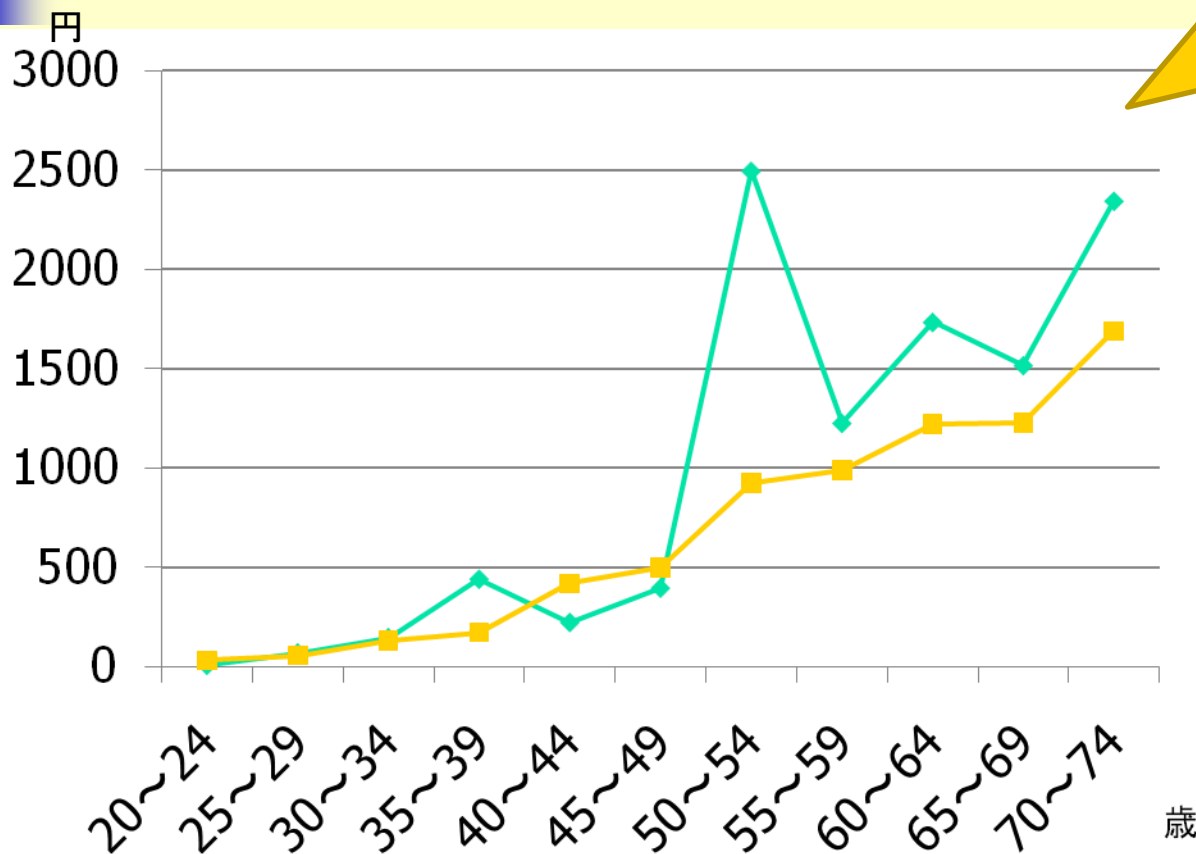
# 受診者数上位疾患

(新城市国民健康保険者 平成22年5月診療分)



# 新城市の糖尿病年齢別費用

(新城市国民健康保険者 平成22年5月診療分)

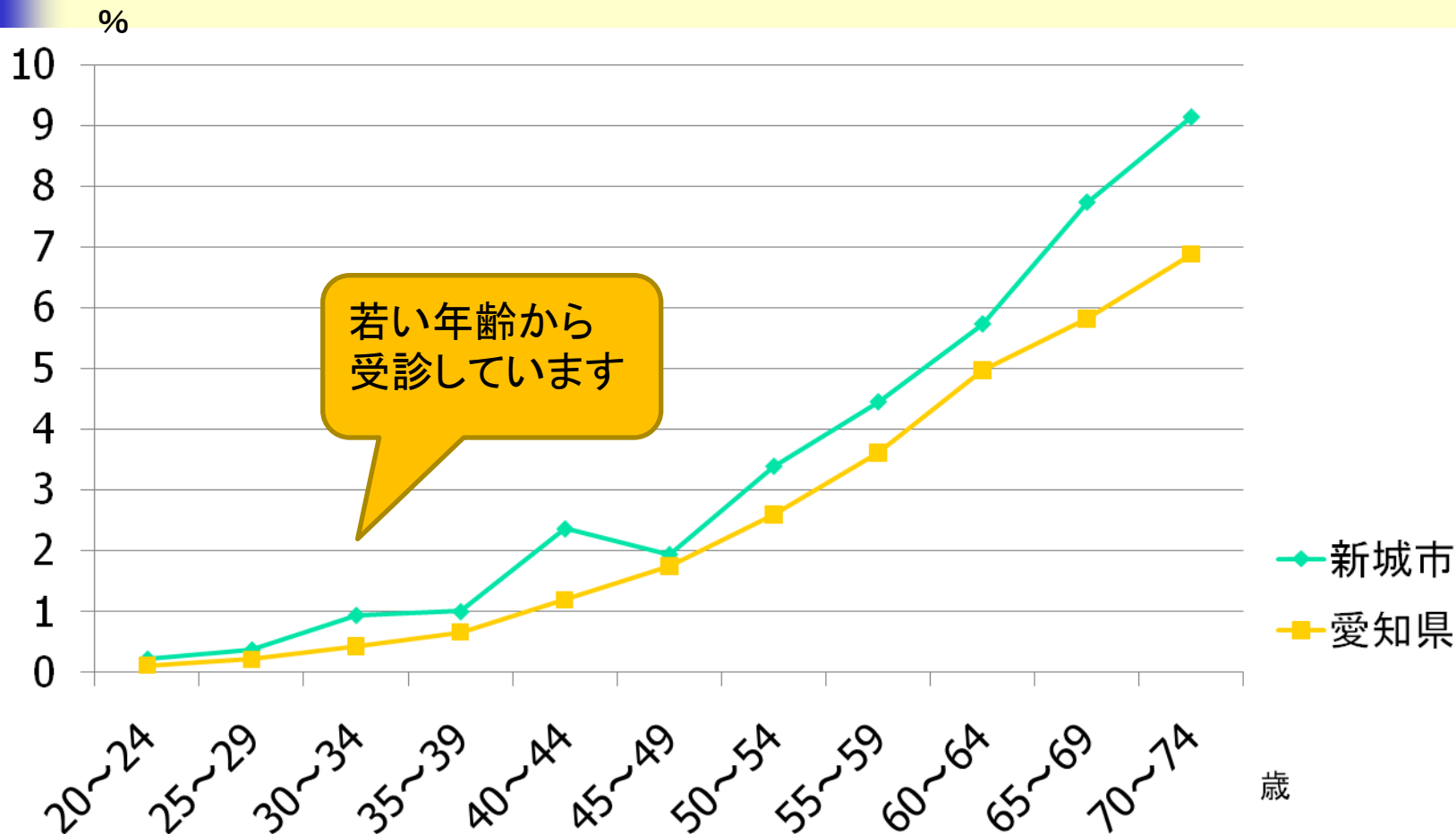


50歳代から  
費用が高くなる  
のが目立ちます

◆ 新城市1人当たり  
■ 愛知県1人当たり

# 新城市の糖尿病年齢別受診率

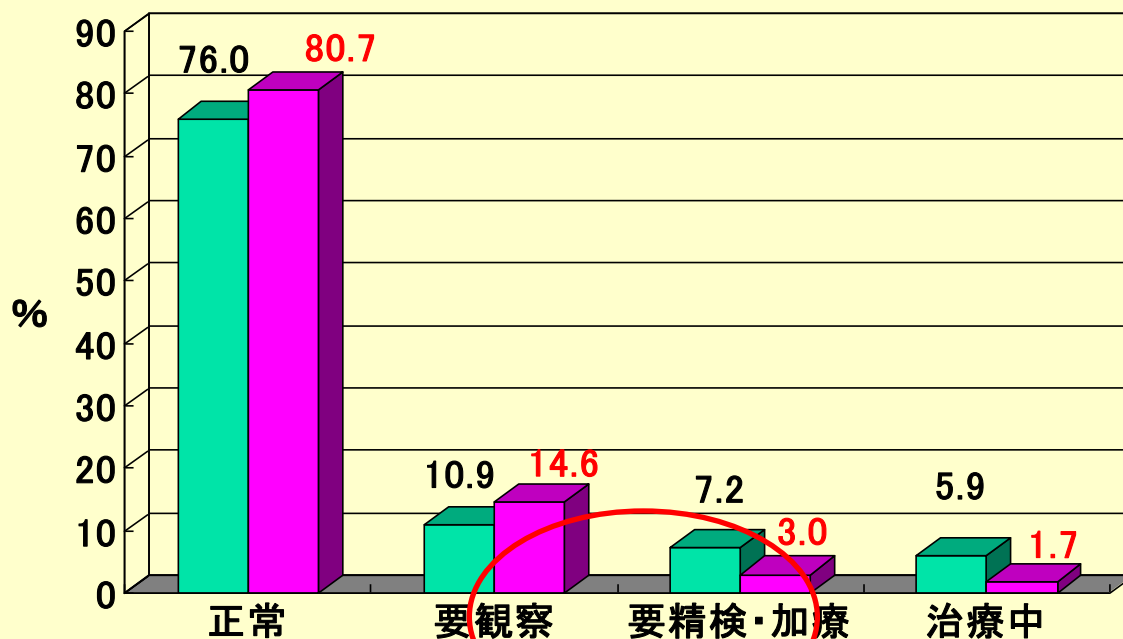
(新城市国民健康保険者 平成22年5月診療分)



# 人間ドック受診者の糖尿病判定

(市民病院健診センター平成21年度分)

n 平成21年度 n=男性1,438人 女性877人



■ 男性  
■ 女性

約2割の人が  
糖尿病  
に注意が  
必要です

# 市民病院における糖尿病の 患者さんの状況

(平成23年2月1月現在)

- 糖尿病の薬を服用している患者数 320名
- インスリン(注射)を使用している患者数  
138名(透析患者も含む) (約4割)

※ 透析患者数67名(男性 41名・女性 26名)

**糖尿病が原因で透析になった方 1割**

# 糖尿病がひどくなってから病院へかかる人もいます



足の病気だと思ったら実は、糖尿病が原因でした。



---

# 健康ひろばでの糖尿病啓発

23年10月30日（日）



# 生活習慣病ブースの内容

---

- ・糖尿病相談・血圧測定
- ・血流測定、血管年齢測定
- ・栄養クイズ
- ・歯科コーナー(ストレス・咬合力測定)
- ・受動喫煙予防(スモーカーライザー体験)
- ・生活習慣アンケート



# 活動の成果とまとめ

- ・保健（予防）と医療（治療）の連携の足がかりとなった。
- ・糖尿病が新城市では多いことがわかった



**市民ひとりひとりが自分の健康に関心を持って生活習慣病を改善できるように活動を広げていきたい**

# 地域の人たちへのネットワーク

糖尿病は身近な病気だよ

みんなで協力して予防しよう



悪くならないようにしっかり治療しよう

年に1回は健診を受けよう

ご清聴ありがとうございました。



かぶちゃん